



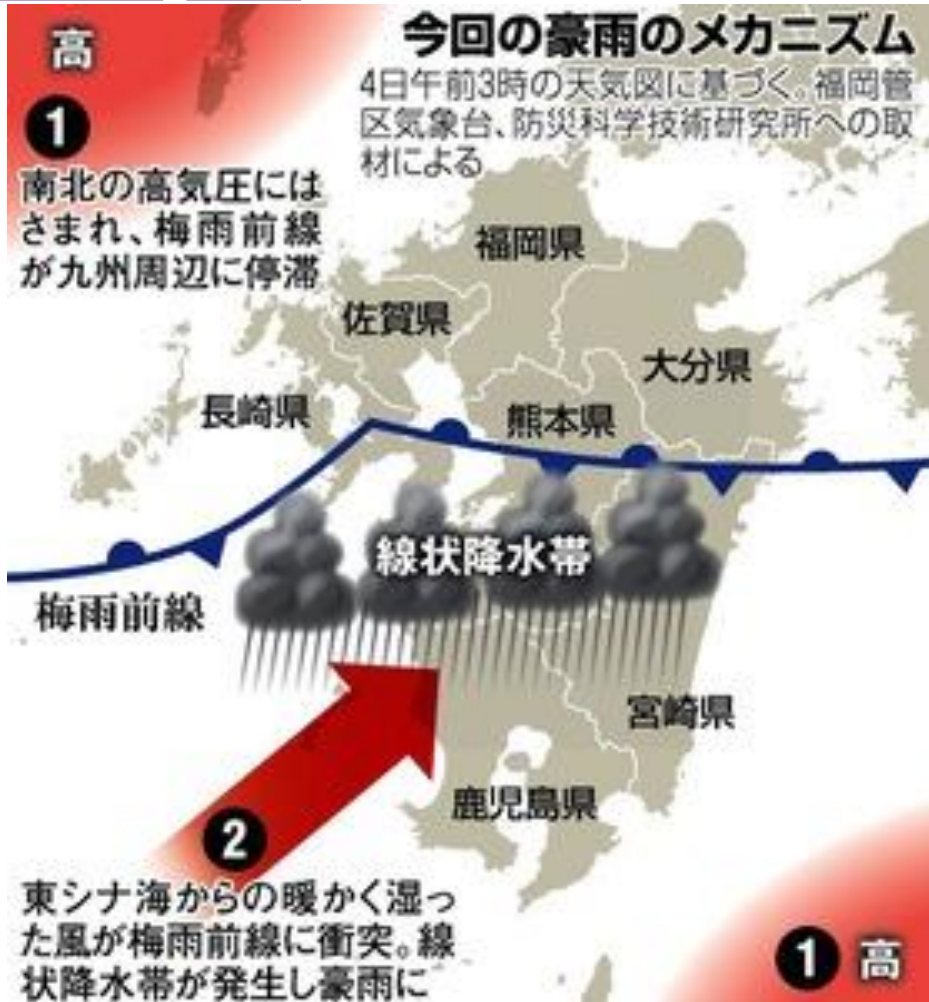
防災と民生委員活動

北陸学院大学人間総合学部 田中純一



これまでの災害経験が通用しない時代

(東京女子大、広瀬弘忠名誉教授)



朝日新聞デジタル20200706



- 1** 3日午後9時50分 人吉市に土砂災害警戒情報
- 2** 4日午前4時50分 熊本県、鹿児島県全域に大雨特別警報
- 3** 5時15分 人吉市が市内全域に避難指示
- 4** 5時55分 国土交通省が「球磨川が氾濫」と発表

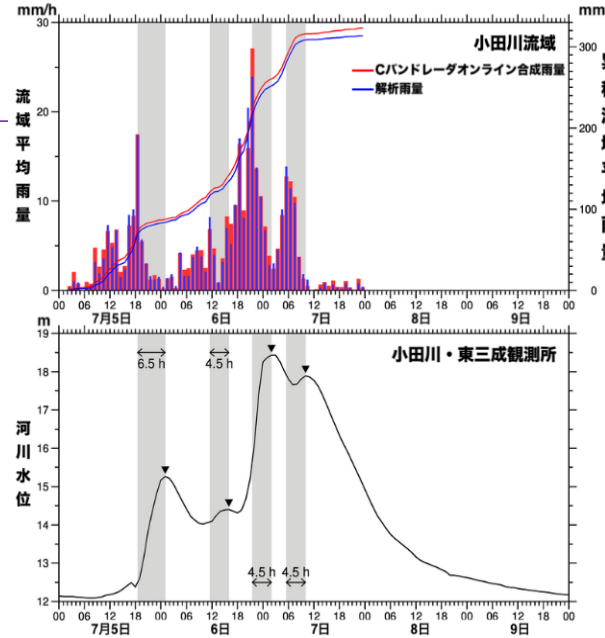
産経新聞 <https://news.yahoo.co.jp/articles/871a347070b0f154509803709a4b3f4c0a2a3076>

深夜・早朝の推移上昇

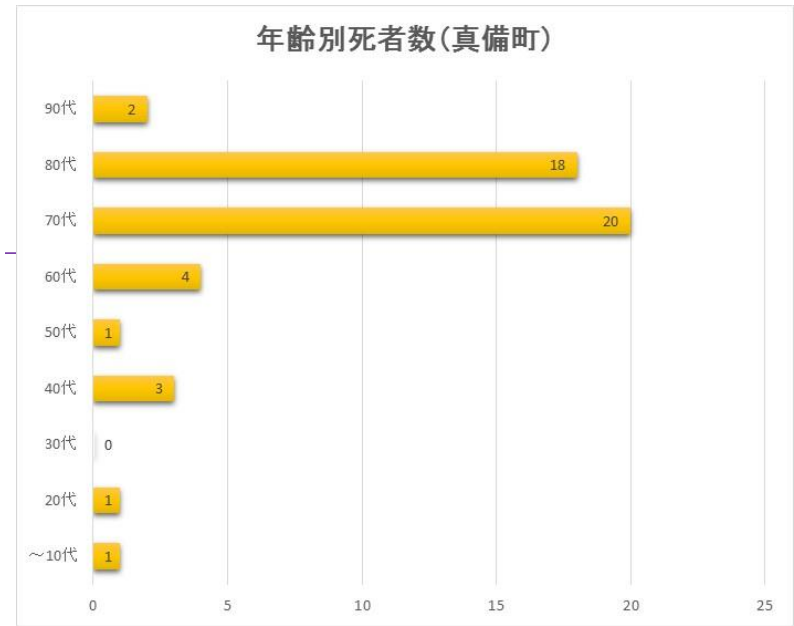
避難行動（真備町）



引用：毎日新聞<https://mainichi.jp/articles/20180711/k00/00m/040/070000c>



出典：防災科学研究所ウェブサイトより

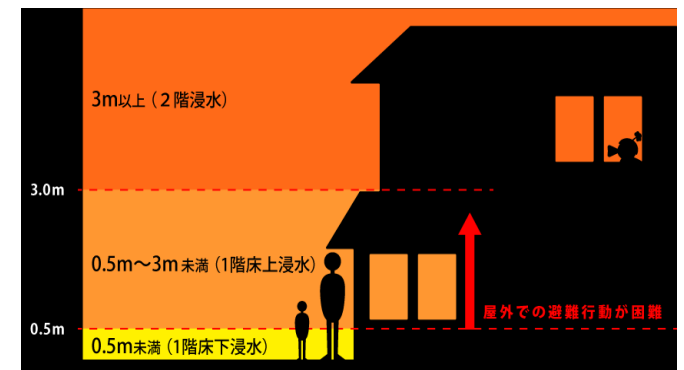


犠牲者51人中42人：自力避難が困難な要支援者

犠牲者のほとんどが**非流出家屋の屋内での遭難の可能性**

(平成30年7月豪雨による人的被害等についての調査(速報)：静岡大学防災総合センター 牛山教授)

※「大丈夫だろう」⇒気づいたときには避難できない状態に



自助・共助・公助（阪神淡路大震災）

被災を免れた世帯、住民による救援、食料・物資等の提供



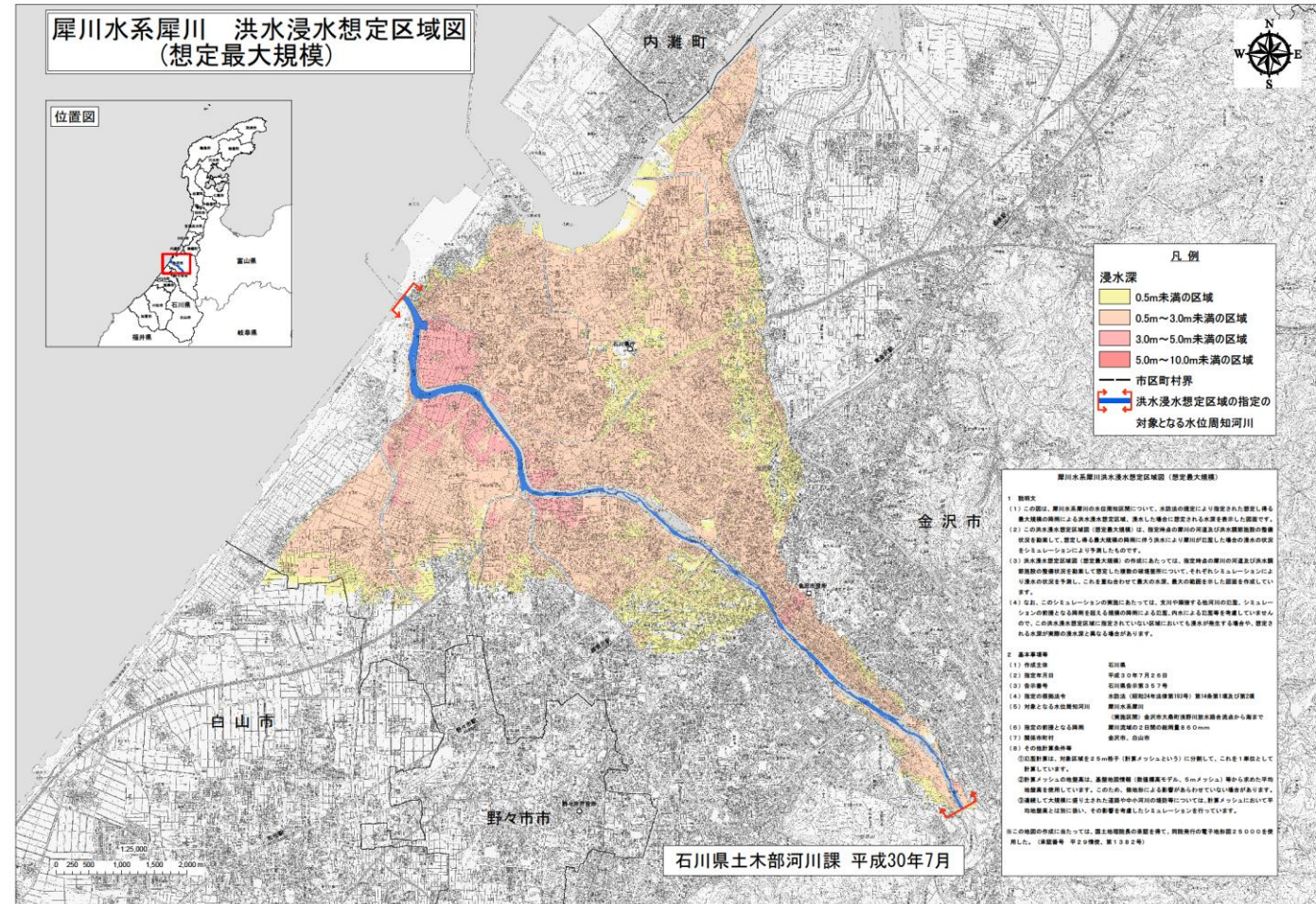
共助・公助の空白

大規模・広域災害：職員数の限界
避難所不足（感染症対策）

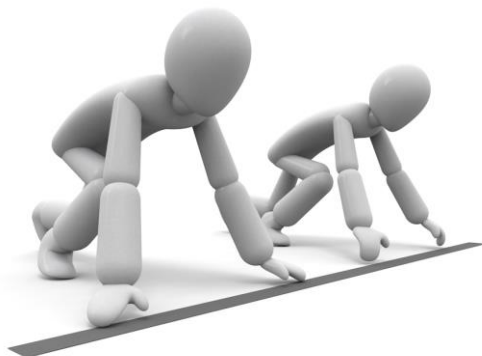
令和2年7月豪雨コロナ禍での豪雨被害

避難する：我が家の周辺の災害リスクを確認する

- ハザードマップ・防災マップ等で危険の有無や程度を確認する
- 避難場所（自宅、知人宅、避難所など）の安全性をあらかじめ確認
- ハザードマップや防災マップに図示されていなくても危険な場合がある（川に近い場所、低い場所、急峻な斜面の近くなど）
- 建物の高さや構造によっても安全性は大きく変わる



避難スイッチをいつ入れるか



- 気象情報 (土砂災害危険度判定)
- 土砂災害警戒レベル
 - 大雨警戒レベル
 - 大雨注意レベル
 - 平常
- 土砂災害特別警戒区域及び警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
 - 急傾斜地の崩壊 (特別)
 - 急傾斜地の崩壊 (公表)
 - 急傾斜地の崩壊 (特別) (公表)
 - 土石流
 - 土石流 (特別)
- 土石流 (公表)
 - 土石流 (特別) (公表)
 - 地すべり
 - 地すべり (特別)
 - 地すべり (公表)
 - 地すべり (特別) (公表)



警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 ※2 ※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 (市町村が発令)
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示 (緊急) ※3 ※3 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令 (市町村が発令)
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人 (ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等) とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (市町村が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)



食事

おにぎり、菓子パン、カップ麺



排泄

3日以内に仮設トイレが設置された避難所は34%
(東日本大震災)
和式、男女共用、暗い



入浴

入浴施設がない



睡眠

人の出入り音、におい
雑魚寝→寝起きの負担



スペース

大人数収容 = 一人当たりのスペースの狭さ
→ 落ち着かない・エコノミークラス症候群



**避難所としての学校（体育館）
そもそも災害避難や宿泊のための施設ではない**



19.5%

震災関連死

(東日本大震災)

直接死 18,434人

関連死 3,592人

母数：1263人

死亡時年齢65歳以上

9割

死亡時期：発災から
1か月以内

5割

男女別：ほぼ半々

関連死要因（復興庁）

※複数選択

避難所における生活の肉体的・
精神的疲労 50.5%

避難所等への移動中の肉体的・
精神的疲労 31.7%

病院の機能停止による初期治
療の遅れ等 22.4%



スフィア基準

1 : 3

3.5m²

快適性

適切で十分なトイレの数

最大20人に1基

男女比 : 1 : 3

居住から50m以内

一人当たり確保すべきスペース

最低3.5平方メートル (約2.26畳)

+ 覆いのある空間

温度・換気

最適な快適温度、換気と保護を提供
するため、すべての季節の特定の気候

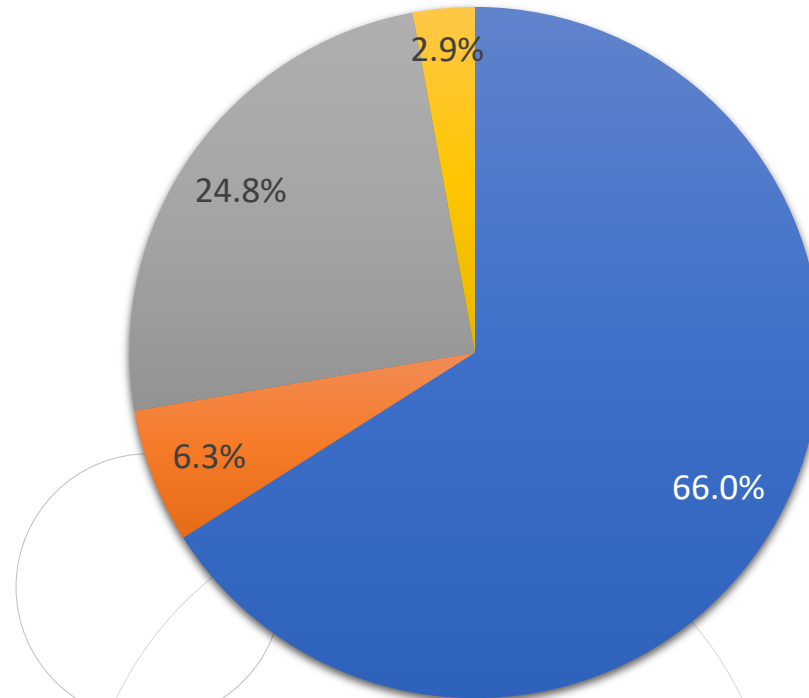
条件を評価

生活再建に向けて：個別のニーズを把握するための視点 仮設住宅入居世帯のニーズ（東日本大震災仙台市復興5年記録誌、2017）

仮設住宅入居者調査（2014、仙台市）

仮設住宅入居世帯調査（8,610世帯）

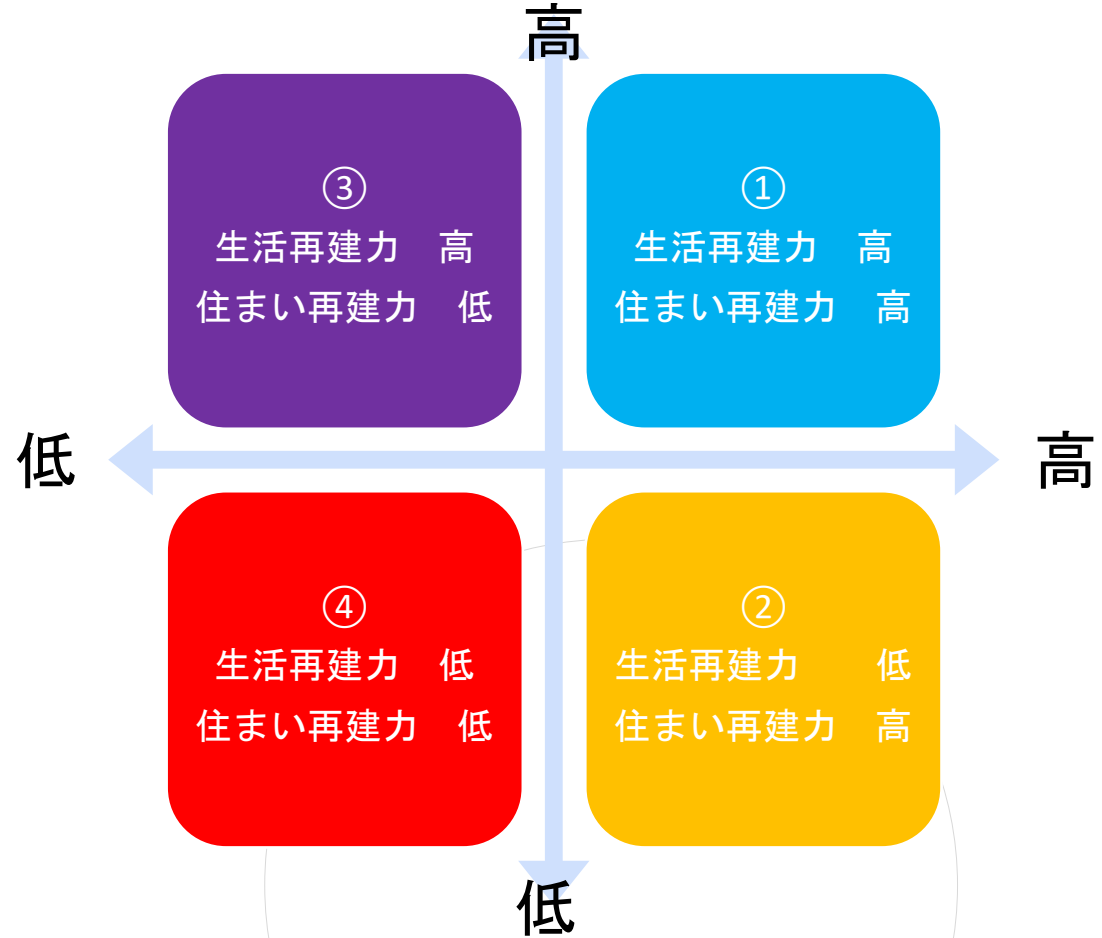
日常生活支援	6.3%
住まいの再建支援	24.8%
日常生活・住まいの再建支援	2.9%



- 住まいの再建方針や再建時期が決まっており、特に大きな問題はなく日常生活を送っている世帯
- 住まいの再建方針や再建時期は決まっているが、主に心身の健康面に課題を抱えており、日常生活において継続的に支援が必要な世帯
- 住まいの再建または再建時期が未定である世帯や資金面、就労、家族関係等に課題を抱えているため支援が必要な世帯
- 住まいの再建に関しても課題を抱えており、かつ、日常生活においても継続的に支援が必要な世帯

個別支援メニューの組み合わせ→復興の加速化

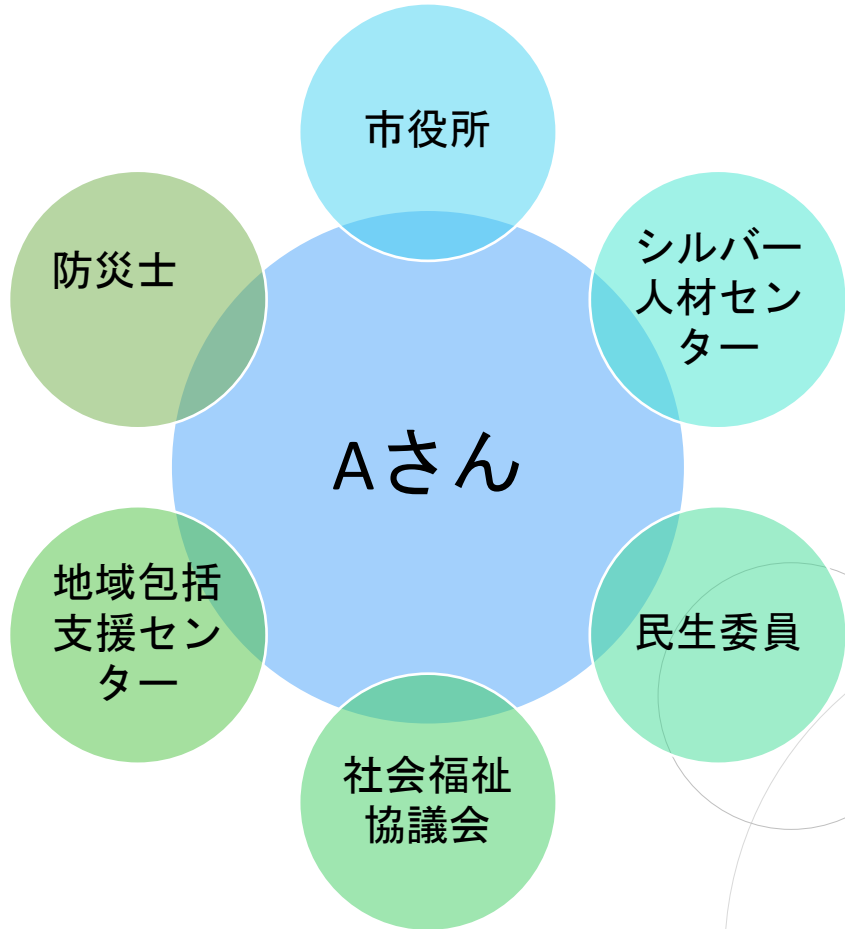
生活再建力（福祉的支援が必要かどうか）



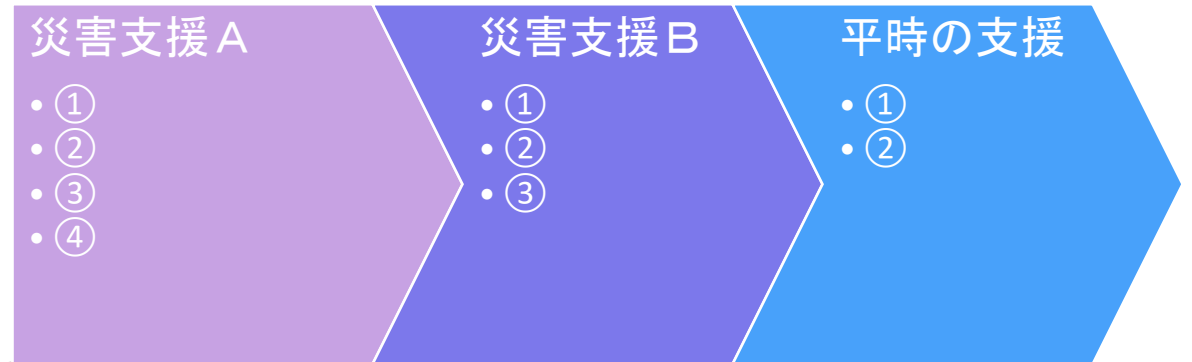
住まい再建力
（金銭の見通し・目途が立っているかどうか）



一人ひとりに向き合うこと：支援の組み合わせ

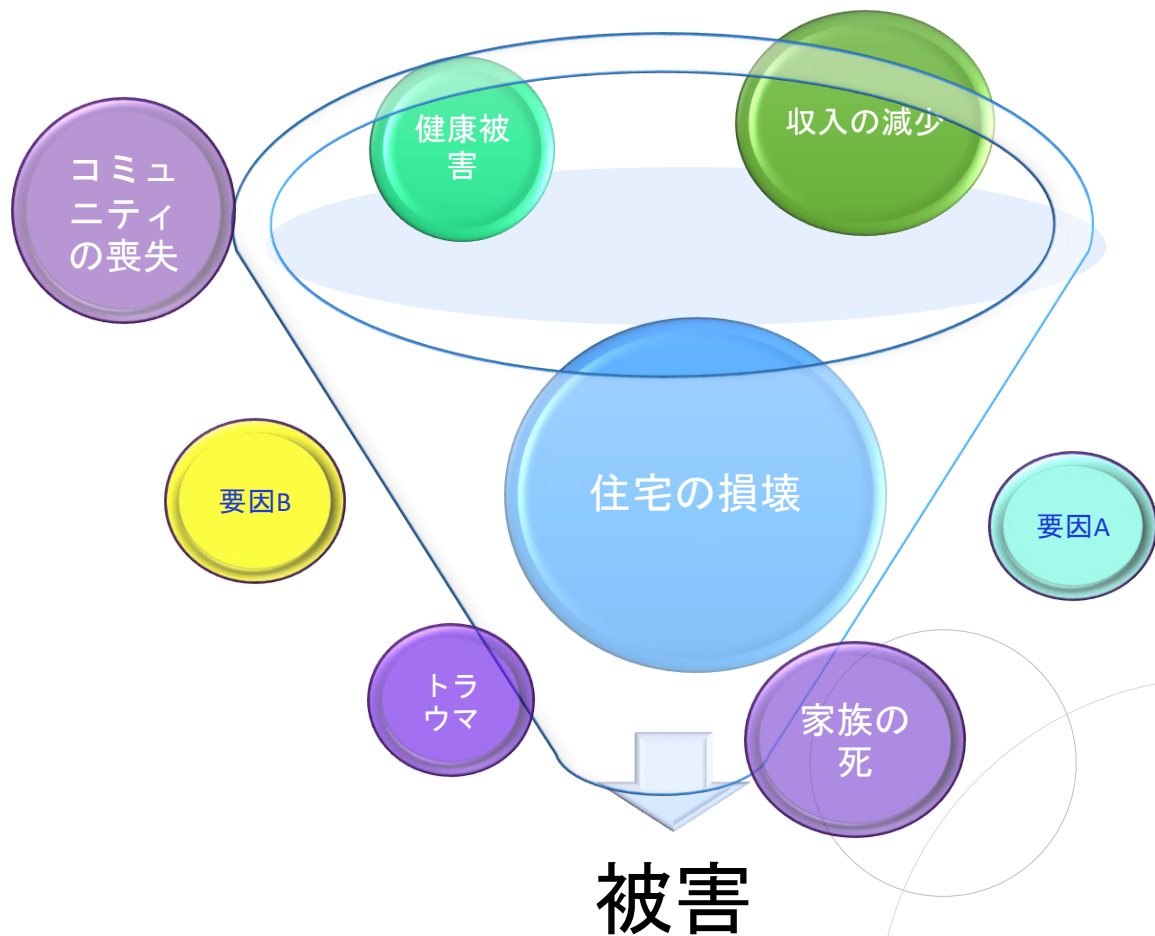


被災者 A さん
被災によってどのような影響を受けたのかの把握
→ A さんに必要な支援の組み合わせを検討
→ A さんの支援計画の策定

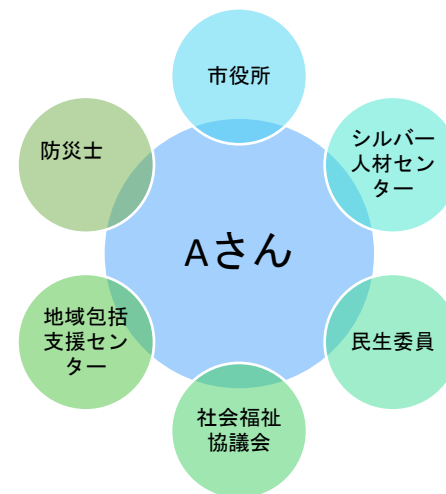
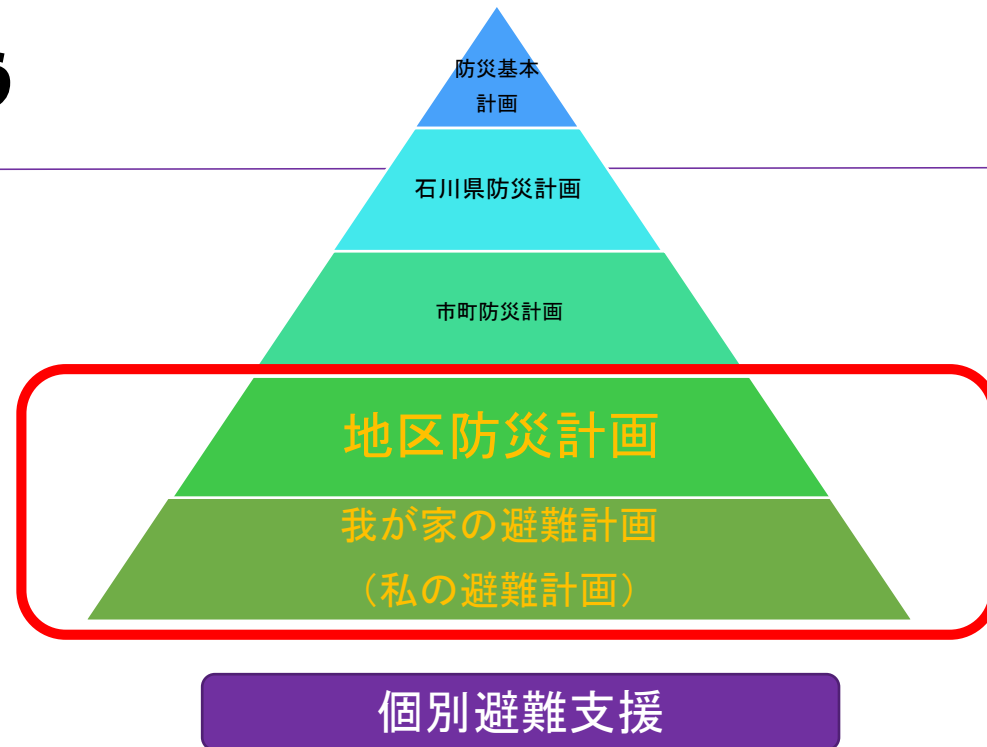


Aさん：平時の支援のみ（ただし見守りの強化）
Bさん：災害支援A 1 + 災害支援B 1 + B 2
Cさん：災害支援A 1 + 災害支援A 2 + 災害支援B 1

災害ケースマネジメント：一人ひとりに向き合う



被災者生活再建支援法
住宅の罹災判定による「被害」※住宅だけが被害ではない



地区防災計画

◎地区の社会特性

◎地区の自然特性

◎地区の特徴（相違点・共通点）

◎平時にできること

◎非常時にできること

（班編成、役割認識等）

◎タイムライン など

(3) 予想される災害(2/3)

- 集中豪雨(ゲリラ豪雨)や台風により
 - ・大額地区でがけ崩れ
- 地震による被害
 - ・家屋の倒壊や火災、
 - ・がけ崩れ
- 火事
 - 狭い道路は火事が広がり
 - 易く、消火がしにくい。



3 校下の特性と予想される災害 (1) 校下の地理的・地形的特性



地区名	世帯数	人口	高齢者数(65歳以上)	うち90歳以上	高齢者割合
浅野	3293	6974	1543	91	22.1%
諸江	6401	14000	2762	142	19.7%
西	2634	5724	1078		18.8%
長田	3073	6253	1200	91	19.1%
芳育	2073	4009	1147	86	28.6%
此花	1293	2574	823	42	31.9%

10

災害時の対応

...人命を守り、被害の拡大を防ぐ活動

A
・
B

- 防災計画の実践!
- 避難所開設(開錠・受け入れ)
- 災害対策本部の開設
- 正確な情報収集・共有・伝達
- 避難誘導・支援
- 被災者の救出・搬送
- 被災家族・地域への支援
- 避難所運営の支援
- 隣近所の助け合い
- 炊き出し

A

- 正確な情報収集
- 行政との連絡・対応
- 孤立化した時の隣近所の助け合い
- 土砂災害時は無理をしないで救助を待つことも必要

B

- 情報を正確に速やかに伝達する
- 居合わせた地区外の人の受け入れ

一地区にあった活動体制一

・・・班編成で役割を明確にする

- ◆本部
- ◆情報班
- ◆消火班
- ◆救出・救護班
- ◆避難誘導班

- ◆給食・給水班
- ◆生活安全班

◆従来の班

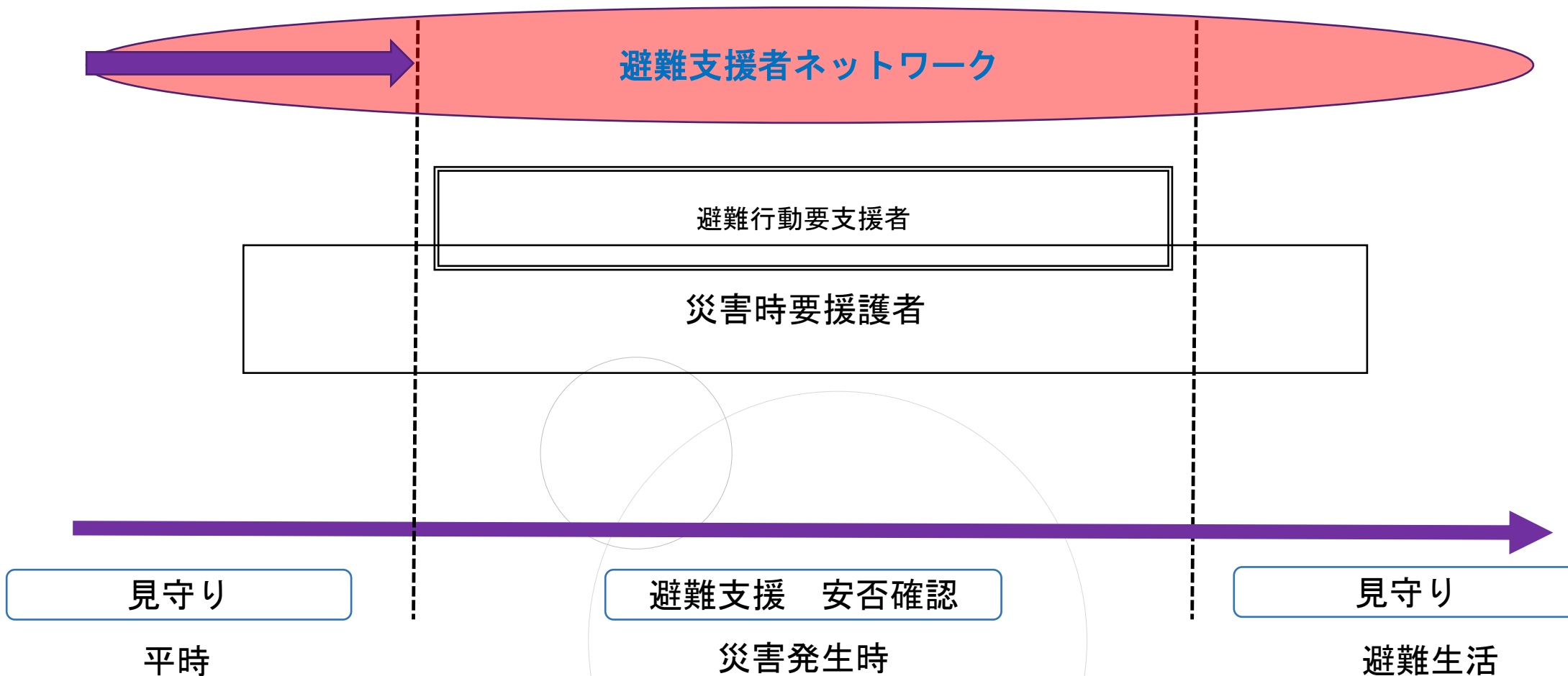
- 福祉班
- ボランティア受付・対応班
- 保健衛生班
- 通信班
- トイレ班

□新規の班

図表：コミュニティ防災士研修で防災士が作成したもの



非常時から平時の枠組みへ（= 次の災害への備え）





民生委員児童委員への負担を減らす


委員への期待・依存の拡大→どこまでが民生委員児童委員の役割なのか

血縁・地縁の希薄化

見守り対象者の増加

支援を拒む住民、委員と面識のない住民

個人情報保護と共有 など





民生委員児童委員の負担を減らす

- 災害時に民生委員が担う役割について地域住民組織と話し合い明確化しておく
- 民生委員が担う役割について住民に周知する
- 要援護者を支援するためのネットワークづくり
安否確認の協力者、避難する際の支援者の確保
→コミュニティ防災士との連携
- 要援護者自身の自助力を高める（備蓄、受援力）

民生委員児童委員の負担を減らすために

□ ブロック単位の交流 広域災害時の相互協力・支援体制

- 近助① (ご近所、班)
- 近助② (町内会)
- 近助③ (町会連合会又は隣接する町内会)
- 遠助① (市町)
- 遠助② (都道府県)
- 遠助③ (県外、海外)

